

川越市とトラック協会川越支部の物資輸送に関する会議

及び物資拠点施設の現場確認

日 時 令和6年12月20日(金)

13:00~14:00

場 所 川越市なぐわし公園

出席者 川越市 防災危機管理室 藤居副主幹、根岸主査、豊川主任、
なぐわし公園 河野支配人、公園整備課(施設所管課) 岩下主査、
管財課(物資輸送班)高梨課長、車両管理担当 野澤氏
埼玉県トラック協会川越支部 鈴木支部長、新井副支部長、持木理事、
タテヤマ輸送(株)荒木氏(災害物流専門家研修受講)
事務局 山本氏
埼玉県トラック協会 菊地部長、塩野目

○実災害が起こった際の川越市の動きについて

- ・ 防災危機管理室が中心となり、災害対策本部を設置する。
- ・ 物資輸送の要請については、災害対策本部から東上通運(株)関根常務あてに連絡を取り、文書もしくは口頭で行う。また管財課(物資輸送班)、公園整備課(施設所管課)を中心として、現場で物資輸送の指示、積降ろし、積み込みを行う。
- ・ 指定避難所は別添の一覧にあるように主に小中学校となっており、2t~3t車が入れる。(学校によって進入できるトラックに制限あり)
- ・ なぐわし公園の備蓄庫の隣にある体育館を物資保管場所として想定しており、総面積1,000 m²の内半分を荷捌き場所、半分を保管場所とする予定。
- ・ 保管スペースが不足する、あるいは使用できない場合、ブルーシート等を使用し駐車場を利用する予定。(第一駐車場で約 7,000 m²)
- ・ なぐわし公園内にはフォークリフト、ハンドリフト等はないが、非常電源は備えている。
- ・ なぐわし公園の他、川越運動公園総合体育館と川越総合卸売市場を物資拠点として想定しているが、川越運動公園は自衛隊の活動拠点となっており、体育館は水害時の避難場所を兼ねている。
また、川越総合卸売市場は民間施設のため、備蓄品の保管はなく、フォークリフトはあるが、市と市場内の業者との間で、災害時にすぐ使用できるような協定は締結していない。
- ・ 物資拠点として3か所の優先順位はなく、災害による被害状況等によって決める。
- ・ 物資の輸送については、市内に14箇所の災害備蓄庫があるので、そこからの輸送依頼も想定している。

○川越支部からの意見

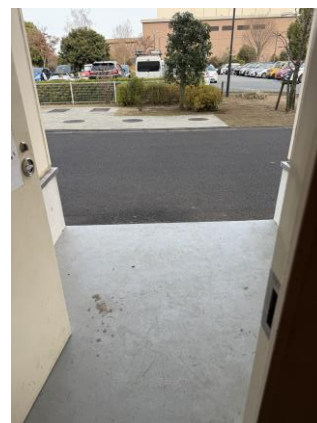
- ・ 大規模災害時には、東上通運(株)の関根常務と連絡が取れなくなることも想定されるので、川越支部の他の役員数人の連絡先がわかっているといい。
※年度当初に川越市担当者等及び川越支部支部長、防災担当者等の連絡先一覧を協会から双方に送付しているので参考にいただければ。
- ・ プッシュ型の物資を手積み、手降しで行うのは、難しいのでフォークやパレットをレンタル業者と協定を結ぶなどして、災害時に使用できるようにしておいた方がいい。
- ・ フォークのオペレーターについては、川越支部から出してもいい。
- ・ 体育館でハンドリフトを使用するなら床が抜ける可能性があるなので、コンパネで養生が必要。
- ・ フォークは体育館では床が抜けるので、トラックから降ろす場合や、駐車場を保管場所とした時になる。
- ・ フォークやハンドリフトがないと荷降ろしにかなり時間がかかってしまう。
- ・ トラックの搬入口、経路、搬出口については、道幅も広いので、大型車も通れる。
- ・ 荷降ろしにローラーを使えば、降ろすスピードが上がるのであった方がいい。
- ・ ハンドリフトやローラーを購入しておけば、物資の仕分けや整理にも役立っている。
- ・ 体育館への搬入口と搬出は玄関とするなど、搬入と搬出を分けたほうがよい。



なぐわし公園建物



なぐわし公園出口



体育館搬入口



備蓄庫



なぐわし体育館 (1,000 m²)